



学校だより

<http://www.keyaki-sh.spec.ed.jp/>

12月号

平成30年12月3日発行

埼玉県立けやき特別支援学校

048-601-5531

同時双方向通信の取組

校長 三原和弘

今年度、本校は「病弱教育における主体的・対話的で深い学びのための授業づくり」の実践研究に取り組んでいるところです。今年度末には、文部科学省にも報告をすることになっています。

これに先立って、現在取り組んでいることを、朝日新聞を通して多くの人に知ってもらう機会がありました。11月11日から7回にわたって掲載された、「いま子どもたちは 病弱教育にICT」と題した記事です。その中の2回（14日と18日）が本校の取組を記事にさせていただいたものです。内容は、音楽の授業で音楽室と病室を双方向の通信で結んで合奏などに取り組む授業とさいたまスーパーアリーナへ町探検に行った校外学習をリアルタイム中継して、実際に外出できない子どもたちにも参加しているような体験をして学習するというものです。お子さんのインタビューや文化祭での取り組みにも触れています。



この7回の朝日新聞の記事を、校長室前の廊下に掲示してあります。機会があったらご覧ください。

本校以外の記事の中には遠隔操作できる分身ロボットを使って、病室にいながら近くの小学校の教室のみんなとつながり授業をするというものや、高校生で入院していた生徒さんが、自分の在籍している高校とネットでつながり授業を受け単位取得していったというものもあります。

今後も、今まで取り組んでいなかった様々な形で、教室と病室、教室や病室と他の学校、地域の施設や行事などをつないでいきたいと思います。病室の一人だけではできない、みんなで楽しさを共有しあう体験、話し合う活動、実際に行けないけれどもその場にいる感覚で学習することなどなど、学びの質や量をかえて、学びの意欲を引き出していきたいと思います。

本校の研究は、平成32年度から実施される学習指導要領に、「体験的な活動を伴う内容の指導に当たっては、児童の病気の状態や学習環境に応じて、間接体験や疑似体験、仮想体験等を取り入れるなど、指導方法を工夫し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。」と明記されていることにも大きくかかわっています。

テレビのお仕事～テレビ東京出張授業～

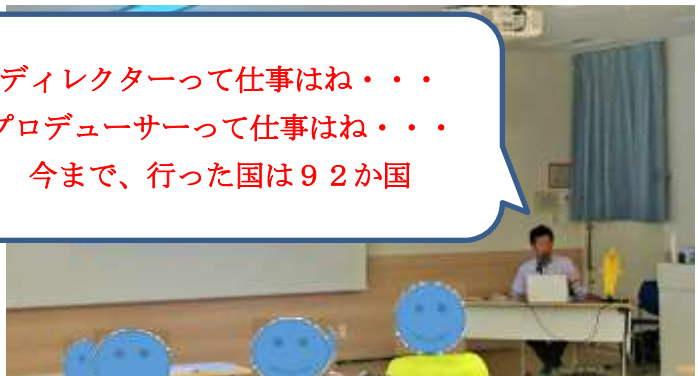


11月30日（金）の午後に、『テレビのお仕事』として、テレビ東京さんによる出張授業がありました。

アナウンサー、カメラマン、プロデューサーの方に来ていただき、それぞれの方の仕事の内容について、お話しいただいたり、実際に使われたニュース原稿を読んだり、カメラの実機を持たせてもらったりしました。もちろん？『ナナナ』も来てくれました！



ディレクターって仕事はね・・・
プロデューサーって仕事はね・・・
今まで、行った国は92か国



けやき卓球選手権



ナナナと卓球もしました。実況は中川アナウンサー、解説は本校教員の2名。

実況による会場（視聴者）の盛り上げ、解説2名も頑張りましたが、不慣れな面もある中、上手な進行…、これがプロの仕事か！と、感じさせられました。

日々の授業とは、一味も二味も違った授業。いつもとはまた違った子どもたちの反応や様子を見ることができました。

本校		7日（金）	小3社会科見学（さいたま市立博物館）
		14日（金）	短縮日課（12：15下校）
		17日（月）	小5社会科見学（小児医療センター）
		21日（金）	2学期終業式（12：15下校）
		22日（土）	冬季休業日【1月7日（月）まで】
		1月 8日（火）	3学期始業式（12：15下校）

